

最先端研究開発支援プログラム

中心研究者・研究課題 提出書類様式

【注意事項】

- 提出日時点における情報を記入すること。
- 【様式1】は、「4. その他の研究開発活動状況」、「5. 共同提案者の基本情報及び現在の研究開発との関係等」及び「6. その他」の部分を除いた、「1. 中心研究者の基本情報」、「2. 中心研究者の研究開発経歴」及び「3. 研究計画等」の部分について、合計10頁以内とすること。各項目の記載量は任意。
- 複数の研究者による共同提案を行う場合、
 - ・「5. 共同提案者の基本情報及び現在の研究開発との関係等」を共同提案者毎に作成すること。
 - ・推薦状は中心研究者のみ作成。現在の所属機関以外の機関に属する者であって、研究課題に関連する分野の著名な研究者1名以上からの推薦状を提出すること。
- 公募要領中の「検討の視点」における各項目に対応した内容を記載すること。
- 締切後の書類の修正は、一切認めない。

2. 中心研究者の研究開発経歴

①研究代表者として参画した研究開発の概要

【研究開発テーマ及び概要】

②その他の大型の研究開発への参加歴

【研究開発テーマ及び概要】

③国内外の有力な受賞歴（顕彰含む）

【受賞年月、受賞名及び受賞テーマ】

④主な発表論文

【発表年月、論文掲載誌名及び論文名等】

⑤国際標準化活動実績

⑥現在までの研究開発活動による特許の出願・権利化・実施状況（件数）

	出願中	権利化	実施（許諾含む）
国内			
海外			

3. 研究計画等

①研究開発の概要	
研究課題名	
カテゴリー	
研究開発ステージ	
研究課題の概要	
研究課題の意義	
現状等	

目標	
----	--

②研究計画

--

③研究開発体制

【研究チームの構想】

【サポート体制の構想】

【成果を社会還元するための体制の構想】

④必要経費

事項（費目及び用途）	金額（億円）	備考
総額（概算でよい）		

⑤現在の所属機関との関係	
⑥プログラムのエフォート1	(全仕事時間に占める、プログラムの研究開発活動時間の割合) %
⑦プログラムのエフォート2	(研究開発活動時間全体に占める、プログラムの研究開発活動時間の割合) %
⑧特記事項	

(注1) 研究開発ステージにおける「基礎」、「応用」及び「開発」の定義は、以下のとおり。

1. 基礎研究

特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため、又は現象や観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいう。

2. 応用研究

基礎研究によって発見された知識を利用して、特定の目標を定めて実用化の可能性を確かめる研究や、既に実用化されている方法に関して、新たな応用方法を探索する研究をいう。

3. 開発研究

基礎研究、応用研究及び実際の経験から得た知識の利用であり、新しい材料、装置、製品、システム、工程等の導入又は既存のこれらのものの改良をねらいとする研究をいう。

4. その他の現在の研究開発活動状況

①その他（研究課題に関連するもの以外）の現在の研究開発活動状況	
研究開発テーマ	
概要	
制度名	
実施予定期間	〇〇年度～〇〇年度
予算額（H21 年度）	〇〇百万円
エフォート 1	（全仕事時間に占める、当該研究開発活動時間の割合） %
エフォート 2	（研究開発活動時間全体に占める、当該研究開発活動時間の割合） %
プログラムとの関係	

5. 共同提案者の基本情報及び現在の研究開発との関係等

※共同提案者が二人以上いる場合は、本フォーマットをコピーし、提案者毎に作成すること。

①共同提案者の基本情報	
(フリガナ) 氏名	
所属機関名及び役職	
略歴	
②現在の研究開発との関係	
③プログラムのエフォート1	(全仕事時間に占める、プログラムの研究開発活動時間の割合) %
④プログラムのエフォート2	(研究開発活動時間全体に占める、プログラムの研究開発活動時間の割合) %
⑤特記事項	

6. その他

本件に関する連絡先	(所在地) 〒 (TEL) (FAX) (e-mail) (担当者)
備考	